令和７年度　江戸川区立西一之江小学校　学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	よく考えすすんで学ぶ子 思いやりのある子 ねばり強くたくましい子		目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	”みんなの笑顔があふれる学校” 児童にとって、夢をもち、心を弾ませて通う学校 教職員にとって働く喜びを感じ、誇りに思うことができる学校
前年度までの本校の現状	成果	・多くの児童が、学校での学習に前向きに取り組み、自分の力を伸ばそうとする姿が見られた。 ・一人一台の学習用タブレットを活用した授業が学校全体に広まってきて、児童も活用力がついてきた。 ・学校行事を精選、工夫して、簡略化して行うことができた。	課題	・学校全体の児童の学力を向上させていく必要がある。（特に算数科） ・学校行事の内容や方法に対して、保護者に理解していただける環境をより構築する必要がある。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」 自己（学校）評価(A～D)		「中間」 学校関係者評価(A～D)		「年度末」 自己（学校）評価（A～D）		「年度末」 学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				９月	２月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	・授業改善の推進、学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に対しての学校の組織的な対応による取組の実施・充実	・教師自身の「ファシリテーション」の意識を高め、主体的、対話的で深い学びのある学習を定着させる授業の展開	・定着度調査や江戸川区学力調査においてAB層50%以上											
		・江戸川っ子study weekの取り組み内容を学校と家庭で共有 ・３年生での辞書引き学習の実施	・年３回１週間程度、全ての児童がドリルパークを実施 ・３年生全員が国語辞典の引き方を習得											
	○読書科の更なる充実	・読書科における探求的な学習の充実 ・図書室整美活動の実施 ・読み聞かせや図書委員会による活動の実施 ・朝読書の実施	・自ら課題を見出し、図鑑や資料を使って探求する活動を年３回以上実施 ・教員、保護者、図書委員会による年８回の読み聞かせ週間の実施 ・週１～２回の朝読書の実施による読書意欲の向上											
体力の向上	・運動意欲の向上や健康の推進に向けた取組の実施・改善・充実	・「体力テストがんばろう月間」の実施	・体力テスト全種目において、昨年度の記録の平均値を上回る											
	・運動習慣の定着化	・江戸川っ子なわとびチャレンジウィークにおける業間運動の実施	・なわ跳びを楽しんで実施する児童80%以上											
共生社会の実現に向けた教育の推進	・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副籍交流、交流及び共同学習の実施・充実	・特別支援教育や特別支援教室について、巡回指導教員、ＳＣ、心理士などによる研修会の実施	・特別支援教育の十分な理解 ・特別支援体制の充実											
不登校・いじめ対応の充	・不登校対策の実施・充実	・いじめアンケートの実施 ・相手を意識し、人権意識を高める取り組みの実施 ・児童一人一人の実態に合わせた生活指導の充実と教職員の情報共有	・年３回一人一人の声に耳を傾けることによるいじめ・不登校の未然防止 ・毎月第４週に「なかよし週間」として取り組む ・全職員による児童の情報共有機会を週２回、職員夕会で設ける											
	・教育相談の強化	・ＳＣによる５年生全員の面談実施	・一人一人の声に耳を傾けることによるいじめ・不登校の未然防止											

実	・L－Gateの活用	・児童の心身状態を教師がこまめに把握する機会の実施	・週１回以上実施し、一人一人の声にこまめに耳を傾けることによるいじめ・不登校の未然防止												
地域社会に開かれた学校の実現	・学校ホームページの充実等 ・学校公開の実施・充実	・実施状況を分かりやすくするため、取組の状況を学校ホームページに掲載	・毎週ホームページを更新し、校内の情報を保護者や地域に伝える。												
	・教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施	・実施状況を分かりやすくするため、取組の状況を学校ホームページに掲載	・全項目でのＢ評価以上												
	・鼓笛隊の取り組み	・中央地域まつりや一之江ふるさと祭りへの参加 ・校内での鼓笛隊発表の機会	・６年生児童の自己評価肯定的意見80％以上												
特色ある教育の展開	＜俳句作り＞ ・豊かな感性と表現力の伸長 ・日本文化理解	・校内及び地域施設への掲示 ・各種コンクールへの参加	・季節ごとに年４回全児童による取り組み												
	＜カブトムシ小屋＞ ・環境教育（ＥＳＤ）・ＳＤＧ’ｓの推進 ・生き物を大切にする心情の育成	・カブトムシの飼育・観察	・３年生児童の飼育・観察活動に対する自己評価肯定的意見80％以上												